

(案)

令和5年 月 日

三田市長 田村 克也 様

三田市行政評価委員会

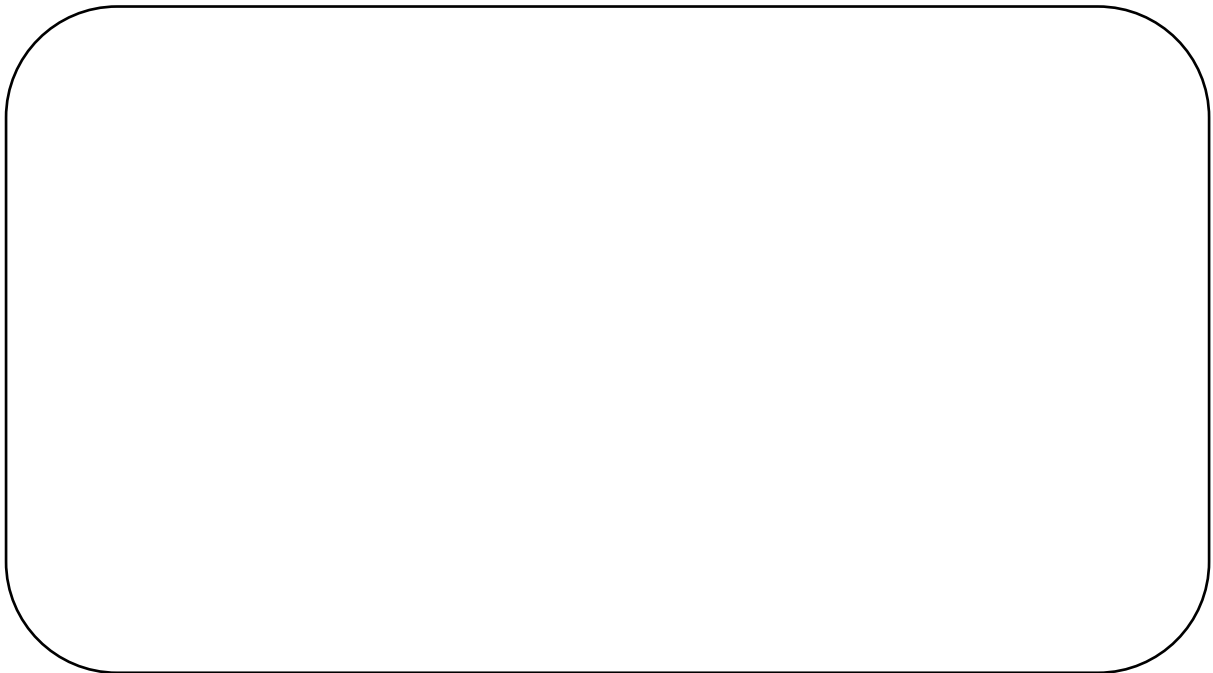
委員長 赤澤 宏樹

令和5年度行政評価（内部評価）に対する検証について（答申）

令和5年8月2日付三政第26号で諮問のあった標題の件について、三田市行政評価条例第5条第3項の規定に基づき検証した結果、下記のとおり答申します。

記

(1) 総括



(2) ヒアリング対象施策について

| | | | |
|------|---|-----|---------|
| 取組番号 | 6 | 取組名 | 学校教育の充実 |
|------|---|-----|---------|

1 内部評価の概要

| 取組番号 | 基本情報 | | 予算の重点項目に対する市の取組結果(R4年度) | | |
|------|----------------------|--------------|--|--|------------------------|
| | | | 主な取組3項目(予算額:千円) | ⇒左記の計画数量、達成数量及び達成度評価 | |
| 6 | 取組名 | 学校教育の充実 | ①小中学校大規模改修事業等 (1,156,340) 【学びを支える環境の整備～子どものより良い学びの環境づくり～】 ②児童生徒への相談・支援体制の充実 【一人ひとりが大切にされる教育・支援の充実】 ③オンライン英語授業実施事業(1,460) 【社会的自立に向けた教育の推進】 | ① 大規模改修及び個別改修による便器の洋式化、照明のLED化等その他修繕工事を実施した。 洋式化の純増数は以下のとおり。 小学校 23基(内 大規模改修 10基、個別改修 13基) 中学校 23基(内 大規模改修 19基、個別改修 4基) (達成度)各校の状況を鑑み照明のLED化、順次便器の洋式化を推進することができた。 ② スクールカウンセラー(SC)、スクールソーシャルワーカー(SSW)による相談・支援を行った。 SC相談件数R4:3,582件(R3:1,685件) SSW相談件数R4:1,110件(R3:1,114件) 不登校児童生徒・保護者が関係機関に相談・支援を受けている割合R4:65.3%(R3:73.7%) (達成度)特別な配慮を要する児童生徒の状態を把握し、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーや関係機関と連携し、個に応じた相談・指導・支援を充実させた。 ③ タブレット端末を活用した外国人講師によるマツウマンオンライン英語授業を実施した。 全8校の中3:年3回 (達成度)生徒アンケートで8割を超える肯定的な回答を得ることができた。 「楽しく学べた」80.9%(R3:81%)、「英語学習に役立った」87.8%(R3:85%)、「これまで学習してきた英語を使うなどして、自分の言いたいことや気持ちなどを伝えようとした」91.7%(R4新規項目)など。 | |
| | 対象経費 人件費除く :千円 | R4予算 R5予算 | | | 2,652,200 1,777,315 |
| | 施策関連 部署 | 学校教育部 | | | |

| 成果指標の推移 | | | | 成果を踏まえた重点課題等(R5年度～) | R5予算対応 済内容(千円) |
|---|--------------------------------|------------------------|------------------------|---|-------------------|
| 指標名 | 基準R2 | R4 | 目標R8 | 現在もっとも重要な1項目+その他の課題を記載 | |
| 1 学習の中でコンピュータ等のICT機器を使うのは勉強の役に立つと答える子どもの割合 | (小6)71.1% (中3)64.2% (R3) | (小6)70.2% (中3)58.3% | (小6)90.0% (中3)85.0% | 【重点課題】 不登校対策の充実 【一人ひとりが大切にされる教育・支援の充実】 | 生徒指導対策事業費(25,077) |
| 2 「いじめを受けたり、嫌なことがあったりした時」相談しないと答える子どもの割合 | (小6)7% (中3)11% (R3) | (小6)10.3% (中3)9.1% | (小6)0% (中3)0% | 【詳細説明】 不登校及び別室登校児童生徒の増加に伴い、「小学校子どものこころの支援員配置」「こころのとからだの自立に向けた相談会」「あすなろe-school」の各事業を実施し、長期にわたる不登校児童生徒への支援の充実を図る。 | |
| 3 「自分には、よいところがあるとと思う」と答える子どもの割合 | (小6)80.7% (中3)76.5% (R3) | (小6)78.3% (中3)75.1% | (小6)90.0% (中3)85.0% | | |
| 4 「将来の夢や目標をもっている」と答える子どもの割合 | (小6)80.7% (中3)68.6% (R3) | (小6)79.2% (中3)66.7% | (小6)90.0% (中3)85.0% | | |
| 5 校舎の洋式便器1基あたりの児童生徒数 | (女子)14.4人 (男子)20.8人 (R3) | (女子)12.5人 (男子)19.6人 | (女子)10.0人 (男子)20.0人 | 【その他の課題】 ・小中一貫教育の推進【確かな学力の育成】 ・校舎等の洋式便器への改修推進 | |

2 評価意見のまとめ

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

| | | | |
|------|----|-----|-------------|
| 取組番号 | 17 | 取組名 | 観光・交流・文化の振興 |
|------|----|-----|-------------|

1 内部評価の概要

| 取組番号 | 基本情報 | | 予算の重点項目に対する市の取組結果(R4年度) | | |
|---|----------------------|---------------|-------------------------|--|---------------------------|
| | | | 主な取組3項目(予算額:千円) | ⇒左記の計画数量、達成数量及び達成度評価 | |
| 17 | 取組名 | 観光・交流・文化の振興 | | <p>①着地型観光の推進に向け、実施プログラムの拡充を図り、新たな観光資源等を市内外へ広く情報発信を行った。</p> <p>・実施プログラム数 R3実績11プログラム→R4実績33プログラム (達成度)事業者研修を通じて、プログラムの魅力増進と事業者間の連携につながった。</p> <p>②返礼品の新規開拓やポータルサイトのPR広告の強化を図った。</p> <p>・返礼品数 R3実績200品→R4実績250品 (達成度)寄附件数及び寄附額の増加につながった。</p> <p>③開館16年を迎えた総合文化センターの持続可能な運営方策を検討しPFI手法等導入可能性調査を実施。また市民への文化振興事業の展開を進めた。</p> <p>・施設利用件数4,949件 イベント件数197件 (達成度)PFI手法等導入可能性調査においては、改修PFI手法等の導入の方向付けを行い、次年度以降の予算化に向け調整が進んだ。また文化振興事業においては、コロナ対策を講じながら事業展開を進め、順調に事業件数を伸ばした。</p> | |
| | 対象経費 人件費除く :千円 | R4予算 | R5予算 | | |
| | 施策関連 部署 | 598,335 | 731,331 | | |
| <p>①さんだのまちを遊ぶ博覧会の推進(2,039) 【魅力あるコンテンツづくり～おもちゃ箱の中はワクワク・ドキドキがいっぱい～】</p> <p>②ふるさと納税制度を活用した魅力発信(82,627) 【情報発信と魅力向上～欲しい人に、わかりやすく届けます～】</p> <p>③総合文化センターの持続可能な運営管理と文化活動支援の実施(242,780) 【総合文化センターの適切な運営と文化活動の支援～文化芸術で人生が変わる!～】</p> | | | | | |
| 地域共創部産業戦略室 地域共創部市民協働室 総合政策部未来戦略室 まちの再生部都市政策室 学校教育部 | | | | | |
| 成果指標の推移 | | | | 成果を踏まえた重点課題等(R5年度～) | R5予算対応 内容(千円) |
| 指標名 | 基準R2 | R4 | 目標R8 | 【重点課題】 | 千丈寺湖畔再生プロジェクト推進事業(10,670) |
| 1 観光入込客数 | 3,569千人(R元) | 2,988千人(R3) | 3,900千人 | 【アウトドア交流都市に向けた核プロジェクトの推進】 【地域資源の保存継承～みんなで守り育む三田の誇り～】 | |
| 2 観光消費額 | 24,594百万円(R元) | 19,534百万円(R3) | 26,100百万円 | 【詳細説明】 | |
| 3 文化財施設のプログラム参加者数 | 4,717人(R元) | 3,201人 | 5,000人 | ・野外活動センター再生プロジェクトについては、新たな運営事業者による魅力あふれる施設へ再生するため、進入路の改修をはじめとした取り組みを進める。 | |
| 4 三田市公式Instagramフォロワー数 | 2,248件 | 3,128件 | 5,500件 | ・千丈寺湖畔再生プロジェクトについては、千丈寺湖畔周辺における拠点整備や事業可能性を検討するためのサウンディング調査を実施するとともに、プレイベントの実施により認知度向上を図る。 | |
| 5 ふるさと納税寄附件数 | 5,265件 | 8,409件 | 8,000件 | 【その他の課題】 | |
| 6 総合文化センターでのイベント件数 | 203件(R元) | 197件 | 250件 | 寄附制度を活用した財源確保を推進するため、ふるさと納税については、R8年度年間寄附額5億円(12,000件相当)をあらたな目標に設定して取り組みを進める。 | |

2 評価意見のまとめ

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

